

はにわ通信

No.374 令和8(2026)年5月号

春季学習支援展示
大昔の暮らし
開催中!

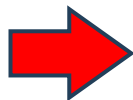


【家の床の形が円形から四角形になったのはなんででしょう】

竪穴建物^{たてあな}は、かつて「竪穴住居」と呼ばれていましたが、住居としてだけでなく、倉庫などの使い方があったことから、最近では「竪穴建物」と呼ばれるようになりました。また、縄文時代の竪穴建物の床面の形は、主に円形や楕円形^{だえんけい}でした。しかし、弥生時代になると地域や時期によって変化に差がありましたが、床面の形が徐々に四角いものへと進化していきました。そして、古墳時代には四角いものとなりました。この変化にはどのような理由があるのでしょうか？みなさんもぜひ考えてみてください！(担当より)



縄文時代の竪穴建物跡 - 粥見井尻遺跡



古墳時代の竪穴建物の模型

(飯南町粥見・三重県指定史跡) 三重県埋蔵文化財センター提供

【松阪の発掘された遺跡②：地域に残る縄文の遺跡 天白遺跡】

松阪市嬉野釜生田町にある天白遺跡^{てんぱく}は、縄文時代後期から晩期(約3,500年前)の祭祀遺跡^{さいし}として知られています。発掘調査では、石を円形にならべた配石遺構^{はいせき}が多数見つかリ、縄文時代の人々が祈りや何かの儀式を行った場所であると考えられています。

この遺跡からは土偶や縄文土器、石棒など多くの祭祀用具が出土しており、土偶の出土数は西日本でも有数とされています。また出土品のうち163点が、令和5年6月に国の重要文化財に指定されており、縄文人の信仰や精神文化を知るうえで貴重な資料となっています。

遺跡は平成12年4月に国の史跡^{しせき}に指定され、その後、配石遺構などが復元整備されています。遠い昔、この地域でも人々が自然に祈りを捧げながら暮らしていたことを思うと、郷土の歴史の奥深さを感じさせられます。天白遺跡は、私たちの地域に受け継がれてきた大切な文化遺産と言えるでしょう。



復元保存された配石遺構 - 天白遺跡
(嬉野釜生田町・国指定史跡)

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 18歳以下無料 開館時間9:00~17:00 入館は16:30まで

- 第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」
第2展示室 春季学習支援展示 「大昔の暮らし ~縄文・弥生・古墳時代~」
4月11日(土) ~ 6月28日(日)

【ギャラリー】 入場無料

- 第1G ◆第102回松阪銀鈴会写真展
5月1日(金) ~ 5月3日(日) 10時 ~ 17時 ※初日は13時から最終日は16時まで
- 第2・3G ◆Mie学生アート展 CRIE ~繋ぐ・託す・挑む~
5月3日(日) ~ 5月5日(火・祝) 9時半~16時半 ※最終日は15時まで
- 第1G ◆フォトクラブ遊遊 第32回写真展
5月15日(金) ~ 5月17日(日) 10時 ~ 17時 ※初日は13時から最終日は16時まで
- 第2G ◆第16回 勢風盆栽展
5月15日(金) ~ 5月17日(日) 9時 ~ 17時 ※最終日は15時半まで
- 第1G ◆サークルミモザ 押し花作品展
5月21日(木) ~ 5月24日(日) 10時 ~ 16時半 ※初日は13時から最終日は16時まで
- 第2G ◆フォトサークル美写紋 第3回写真展
5月21日(木) ~ 5月24日(日) 10時 ~ 17時 ※最終日は16時まで
- 第1G ◆第9回 彩嬉会 作品展
5月28日(木) ~ 5月31日(日) 10時 ~ 17時 ※最終日は16時まで
- 第1G ◆「私たちは、三重を撮る。」
6月3日(水) ~ 6月7日(日) 9時 ~ 17時 ※初日は13時から最終日は15時まで
- 第1G ◆洋画サークル洋会作品展
6月10日(水) ~ 6月14日(日) 9時半~17時 ※最終日は16時まで

< 5月の休館日 7日(木) 11日(月) 18日(月) 25日(月) >

【発行】松阪市文化財センター

【 ☎ 】 0598-26-7330

文化財センターの情報はこちら →

【 FAX 】 0598-26-7374

【 HP 】 <https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

